



<間伐した丸太の運び出し>



Contents

ホームページではカラーで見ることができます

URL <http://www.naranature.com>



ならやまプロジェクト	1	古墳のロマン	6
Monthly Repoならやま	2	ならやま投句箱	7
里山の今（里山・エコ）	3	行事案内	8
新春交流会レポ	4	幹事会報告・編集後記	9
シイタケ菌打ちイベントレポ	5		

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず
あなたも私も・力合わせて

寒暖の差が大きいがならやまの梅は季節をしっかりとらえて満開だ。今年もたくさんの大きな実をつけてくれることだろう。里山林ではロウバイについてアオモジが可愛い白い花を咲かせている。春はそこまでやってきた。悲惨な生活を送っている人々にも早く平和な春が来るように切に願う。

今年に入って最初の子どもたちを迎えてのイベントはとても好評であった。昼食をゆっくりとっていると、「しっかり全部食べや〜」と激励された。山林に竹林、田畑に草原、自然は子どもたちを解放し自由奔放にさせ、本当に幸せそうな姿に元気をいただいた。この豊かな環境を何とか守りたい。

年間活動計画も終盤を迎えて、助成いただいた事業を含め、次年度以降につながるように仕上げなければならないと思う。

3月の活動特記事項

3月7日(木):協働活動(シイタケ菌打ち、アダプトプログラム)

3月の各グループ活動予定

グループ	活 動 予 定
里 山	里山林内整備(皆伐地区枝葉整理、チップ処理) 薪材コナラの玉切り、薪割り、薪棚更新制作 ユート:アカマツの森での雑木間伐と整備
エコファーム	春野菜の準備(鶏糞・はた楽など散布) 種まき(ナス・ホウレンソウ・カボチャ・スイカなど) ジャガイモの植え付け、サトイモ・サツマイモ畑の準備 チップ入れ、堆肥作り
景 観	整備:竹林整備(チップ処理)、彩の森危険物除去、ミツバチ巣箱整備 ビオ:池・水路の景観保全・整備(水田畔沿い水路の補修) 花:道路沿い花壇・アジサイ園の草引き
パトロール	1~3コースパトロール、銘板作成設置 メンテ:水田入り口洗い場補修
果 樹	ミカン・タチバナの植え床作り~植付け、グミの移植 果樹の銘板作り、鹿よけフェンス下の防草シート張り

活動日: 毎週木曜日 9:00~15:00

前日の19時現在の気象庁予報(NHKTV 奈良 19時前放送)の天気予報で、奈良県北部の午前中の降雨確率 60%以上の場合は翌日、翌日も同予報であれば中止



Monthly Repo. ならやま

富井 忠雄

1月25日(木) 晴 寒い 59名+近大生1名
新春交流会、シイタケイベントの案内。

里山Gは植樹穴掘り場所の確定、クマザサ移植地整備、第5区画の榎木薪材玉切りと搬出、薪割り。エコGはエンドウのネット張り、ハウス設置予定地の整備、肥料小屋の備品調査、堆肥作り、大根などの収穫。景観Gは自転車道沿い竹林整備、イベント植樹用支柱制作。花班は山野草園の草引き。ビオ班は近大生の田貝の定期調査とビオエリア内の花壇の枠調整、泥上げなど。パトロールGは観察路3コースのパトロール、桜山の観察路整備、堆肥置場の棚作り。果樹Gは鹿除けフェンス下の防草シート張り、ミカンの植え床作り、グミの木の伐採など。

2月1日(木) 曇り 53名

かなり寒かったのとインフルや風邪のために休む人が多く、参加者が少なかった。協働活動でイベント植樹用に40か所の穴掘りを行う。

各Gは協働活動のほか、次のような活動を行った。里山Gはシイタケ榎木の運搬、玉切り、薪割りなど。エコGはチップの搬入、南水田の寒起こし、堆肥作り、灰の処理、大根などの収穫。景観GはJR側の三角地の整備、彩りの森の枯死木の整理清掃。花班は山野草園の草引き。ビオ班はビオエリア湿地の西側フェンスの草刈り、タナゴ池の東側水路擁壁工事。パトロールGは観察路1コースのパトロール、桜山の観察路整備。果樹Gは伐採木の輪切り、実りの森の梅の木の剪定、グミの片づけ。

2月8日(木) 晴 74名

協働活動でアダプトプログラムを行う。17日のイベントの打ち合わせを行う。



里山Gはイベントに向けて遊びの森の遊具準備、植樹地への真砂土と堆肥の搬入、シイタケ

榎木の玉切り、薪割りなど。エコGは水田への肥料散布、ハウス設置準備、大根などの収穫。景観Gは集積ゴミの整理、伐採真竹のチップ処理など。花班は駐車場横の花壇草引き。ビオトープ班はタナゴ池西側通路補修、草刈り、クワイの掘り出し。パトロールGは桜山の観察路整備、エントランス花壇への植栽、イベント用工作の準備。果樹GはBCの柚子、甘夏の剪定、グミの移植場所の穴掘り、鹿除けフェンス下の除草。



2月15日(木) 曇り後雨 60+2名(シニア)

午後から降雨により早めに活動を終了。

里山Gはイベント関係の準備、丸太材加工、急坂登り道の倒木処理。エコGはハウス設置場所の整備、堆肥作り、鹿除けネット補修など。景観Gは伐採竹、枯死木、雑木のチップ処理。花班は第2駐車場の花壇草引きなど。ビオ班は南水田の東側湿地の整備、クワイの植付けなど。パトロールGは観察路3コースのパトロール、桜山整備、イベント用工作の準備。果樹Gは鹿除けフェンス下の除草シート設置、ミカン植え床作り。

2月17日(土) 晴 22名+イベント参加36名

佐保台小の親子と先方スタッフ計36名の参加でシイタケイベントを開催。内容はシイタケ菌打ち、植樹、里山遊び・散策、工作。

里山グループ

シイタケのホダ木と コナラ・クヌギの幼木

青木 幸子

2月17日(土)シイタケイベントが実施され、シイタケの菌打ちとコナラの植樹などが行われた。ホダ木にシイタケ菌を打ち込むのだが、このホダ木は、去年の秋ならやまで切り倒されたコナラの木です。枝葉をつけたまま放置(乾燥)させていたものを、今年になって枝葉を切り落とし、幹の太いところは薪用に長さ40cmに切り、太さ20cmくらいから上を長さ1mに切ってホダ木にしています。

植樹用のコナラ・クヌギの幼木は、ならやまのドングリを苗床で育てて3年目くらいの大きさになったものを掘り起こし、元の山に植えています。

秋、ならやまにはたくさんのドングリが落ちています。それを拾って大きな穴を掘り、杉の葉を敷いてドングリを入れ、上をまた杉の葉で覆い土をかけて寝かせておきます。翌年の3月、少し根が出てきたドングリを掘り出して、苗床に一つずつ植えていきます。途中水やりをしたり、草取りをしたりして3年が経ち、やっとイベントで皆さまに植樹していただける大きさになります。

今年も3月、昨年秋に拾って埋めておいたドングリを掘り出して苗床に植えます。

小さな子どもたちが植えた幼木は、子どもたちと一緒にゆっくりゆっくり育っていき、また何年後かにドングリをつけてくれることでしょう。



<ホダ木>



<> 苗床 >



エコグループ

二月のエコファーム

井戸 八穂子

節分を過ぎると寒いながらも朝方の陽の明るさに日脚の伸びが実感されます。

冬野菜も終わりに近いこの季節、エコアームにはどんな野菜が育っているでしょうか。

まずは道路を挟んで北側の東の端の畑には玉ねぎが植わっています。初秋に種まきをして苗を育て晩秋に定植をしました。玉ねぎは冬の間、葉はほとんど生長しません。日照時間が伸びるこれから急にぐんぐんと茎や葉が太く生長していきます。そして五月から六月に茎や葉が枯れ始め、横に倒れるようになるとやっと収穫できます。半年以上畑を占領するし、一つの苗から一つの玉ねぎしかできないので効率のいい作物とはいえません。

ビニールハウスの東隣の畑にはニンニクと分葱などが育っています。分葱は2月から3月初めに甘みがまして旬になります。アゲやイカ、アサリのむき身などと一緒に酢味噌和えが美味しいです。ニンニクは球をばらした鱗片を秋に植え、初夏のころ収穫します。その一部はまた来年用の種として作業小屋で乾燥させて保管します。

作業小屋の西の畑はソラマメが育っています。漢字では空豆と書きます。実が上向きに空に向かって伸びているからだと教わりました。一月に定植しました。春、上を向いていた実がだんだんと横になり下を向くようになると収穫時期です。茹でておつまみにするのもいいし、小エビとのかき揚げも緑と赤が綺麗で春らしい一品です。

南の畑ではエンドウ類が寒さに耐えながら育っています。これからつるを上手に伸ばしてあげるために一本一本紐で吊るします。白い粉をふく病気(うどんこ病?)になることが多くて、収穫時期が短い年もあります。

そのほかの畑は夏野菜の準備のために堆肥を入れて耕しています。ビニールハウスを作り直して、そろそろ夏野菜の種をまく作業も始まります。ハウスの中で、毎日水をあげて小さな苗が定植できる大きさになるまで育てます。

新春交流会、懇親会レポート

[交流会]

藤原 勲

日時：1月27日(土) 13:00~15:3分

場所：奈良市中部公民館5階大ホール

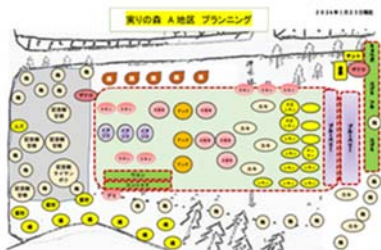
参加者：40名

奈良・人と自然の会はならやまプロジェクトの里山林整備事業(里山保全管理)、自然環境保全を通じて会員の親睦と総合研鑽を図り、地域社会に貢献することを目的としている。

交流会はならやまプロジェクトの中心となる5つのグループが現状の報告と今後の活動方針、それに伴う課題などを発表し、会員はグループの垣根を越えて質疑、意見交換をする場として開催された。冒頭、千載会長から、「里山」を保全するためにはどのグループも不可欠であるが、全体としてどのような活動となっているのかを時には理解・再確認する必要がある。昨年の「ならやまプロジェクト報告会」は若干消化不良であったことを反省しながら有意義な場にしたいとの挨拶があった。



まず果樹グループ(発表者有元さん、豊田さん)から。実りの森はベースキャンプから離れており普段あまり目にしない場所であるが、イラスト配置図によって果樹の育成計画がわかりやすく説明された。



次にパトロール

ールG(小島さん)の発表。四季折々珍しい草花の開花に合わせてならやまで行われる自然観察は草花の名前をほとんど知らない者にとっては楽しみである。また、自然教室の



一環としての学習支援活動は子どもたちに身近に自然と触れあって関心を持ってもらおうと共に、地域との繋がりを大切にするイベントである。

続いて景観Gは整備班・花班・ビオ班(太田さん・内河さん・中川さん・宝田さん・田



中さん)が発表。景観Gの活動範囲はならやま全般に及び、一年を通しての活動を写真で見やすく纏められていた。花班、ビオ班も少ないメンバーで活動されている状況がよく分かった。

続いてエコファームG(三瀬さん、青木芳一さん、吉村さん)が発表。①畑の場所が散らばっている②日当たりが悪く休耕している畑がある③野菜の種類が多い④夏場の水やりと雑草対策などが課題。

最後に里山G(山本さん、福田さん)の発表。計画的な部分皆伐と植樹による里山林の再生につ



いてこれまでの取り組みを含めて地図上で説明されてよくわかった。倒木の撤去。薪棚の改築が課題。

共通の課題としては、①雑草対策②鹿などの獣害対策③会員の高齢化と減少④新規会員の獲得などが再認識された。

紙面の関係上ほんの一部しか紹介できなかったが、各グループを通して全体の活動を少しでも理解するいい機会であった。次の機会にはもっと多数の方の参加を期待したい。

(各グループ説明資料はHP会員専用サイトを参照ください)

[懇親会]

冨井 忠雄

場所を一条本店(新大宮駅前)に移動して、16時より24名の参加により交流会の余韻を残しながら開催されました。まず、鈴木顧問の乾杯の音頭から始まり、各Gの皆さんが参加して、今日の結果についてとか、各自プライベートな会話などで盛り上がりしました。

シイタケ菌打ちイベント・レポ

富江 文雄

コロナ禍がようやくほぼ終わり、昨年までは午前中だけのイベントであったが、今回(2月17日)は午後も含めての開催となった。佐保台小学校放課後こども教室を中心に子ども15人、保護者16人、地域コーディネーター5人の計36人の参加者があり、会員22名が運営を担当した。9時から会場の設営を開始、10時から企



画推進委員長の森兼氏から開会のことば、千載会長の挨拶があって、すぐに2班に分かれて活動を開始した。

午前中はシイタケ菌打ちの班と植樹の班がそれぞれ交代して作業に入った。

ベテラン会員が榎木にドリルで穴をあけ、そこに子どもたちが保護者に助けられてシイタケ菌を打ち込むのだが、初めての経験に最初は戸惑っていたが、慣れるとどんどん作業が進んだ。



植樹の準備は前もって用意したドングリから成長し2-3年経ったコナラの幼木を、これも事前準備した穴に植込みました。竹で作った添え木を立てて、植えた子どもの名前を書いた銘板を付けて完成させる。



両方の作業を終えると結構な運動量になった。昼食には会の名物料理、‘豚汁’が振る舞われ、アツアツをお代わりする子どももいた。

午後の部では、山の中に設営された遊具での里山遊びとベースキャンプでの工作/クラフト体験(クマのペンダント作り)を楽しんだ。



午後2時半頃には全ての活動が終わり、満ち足りた子どもたちの顔が見られた。

参加者には既に芽の出たシイタケの榎木がお土産として渡された。今日の里山遊びが子どもたちの貴重な体験として記憶に残ることを期待する。

古墳のロマン

(富雄丸山古墳と桜井茶臼山古墳)

坂東 久平

2023 年は二つの古墳で大きな発見があった。

富雄丸山古墳では、円墳の張出部から類例のない意匠がほどこされた「鼉龍（だりゅう）文盾形銅鏡」と剣身が曲がりくねった「蛇行（だこう）剣」が出土した。何れも過去に例の無い「国宝級の大発見」である。令和6年の発掘調査が始まっており、木棺の内部から何が出るかが楽しみである。



桜井茶臼山古墳は盗掘により、大きく破壊されており大量の鏡破片（鏡の中心部の分厚い部分は全くない）や王杖などが出土していた。

今回は 385 点の銅鏡片全点の3次元計測を実施し、過去のデータを参考に復元を行った。

その結果 103 面の銅鏡が確認された。表1に復元された 103 面の内訳を示す。

表1 桜井茶臼山古墳副葬鏡の復元

【中国鏡】			
方格規矩鏡	2	斜縁神獸鏡	5
細線式獸帯鏡	4	斜縁同向式神獸鏡	4
内行花文鏡	9	各種神獸鏡	3
四葉文座（獸帯鏡）	1	【三角縁神獸鏡】	
盤龍鏡	1	三角縁神獸鏡	26
浮彫式獸帯鏡	8	【倭製鏡】	
画文帯神獸鏡	19	倭製内行花文鏡	12
（環状乳式、同向式、		倭製龍鏡	7
対置式、求心式、四獸式）		倭製不明鏡	2
		計	103（以上）

アーカイブスに登録されている全ての種類の銅鏡が確認され、何れも名品ばかりである。

中国鏡は様々な鏡式を取りそろえ、精緻なものであり、三角縁神獸鏡や倭製鏡もあり被葬者の勢力の巨大さを思わせる。

前期古墳で銅鏡を多く出土した古墳の、第1

位は桜井茶臼山古墳（103）、第2位の椿井大塚山古墳（36 以上）、以下三味田宝塚古墳（35）、黒塚古墳（34）を大きく引き離しており、更に倍近くの 200 面以上との推測もある。

(坂東私見)：古墳オタクの呟き

オオヤマト古墳群の大型古墳：年代順に箸墓古墳、西殿塚古墳、桜井茶臼山古墳、メスリ山古墳、行燈山古墳、渋谷向山古墳があり、初期ヤマト王権の王陵と考える。

箸墓古墳： 卑弥呼

西殿塚古墳： 台与

桜井茶臼山古墳： ミスターX（大王）

メスリ山古墳： ミスターY（大王）

行燈山古墳： 崇神天皇

渋谷向山古墳： 景行天皇

桜井茶臼山古墳、メスリ山古墳は4C中期から末の築造であり、卑弥呼から崇神天皇に至る時期に存在した初期ヤマト王権の王陵ではないかと推定している。

2つの古墳にはかなりの類似性があり、共に王杖が出土し、茶臼山からは大量の鏡が、メスリ山からは大量の鉄製品、大量の大型円筒埴輪が出土している。

佐紀古墳群の大型古墳：年代順に陵山古墳、富雄丸山古墳、宝来山古墳があり、初期ヤマト王権に関わる陵と考える。

陵山古墳： 垂仁天皇妃（日葉酢媛）

富雄丸山古墳： ミスターZ

宝来山古墳： 垂仁天皇

富雄丸山古墳は円墳であり、出土品のスケールから考えると大王ではないが、王権にかなり近い有力な豪族であると思われる。物部氏の祖である「ニギハヤヒ」ではないだろうか？

これら古墳の内、6基は宮内庁の意向で発掘調査ができていない。古代史の研究を進めるため早急な調査が必要ではないかと考える。

新ならやま投句箱

俳句

落ち残る柿にメジロが二羽三羽

染め布に水仙の丈競い合い

凛として古武士のごとき枯木かな

熟し柿一つ残りて春を待つ

もぐら

春光や土竜の塚の六つ七つ

生駒山神の氣まぐれ小雪舞う

陽光に足速めたり心浮く

山茶花や咲き継ぎ散り継ぎ紅散らす

春が来た能登にも飛んでけ飛んでけ春

春ゆやけ来し方行く末はんなりと

ならやまの手作りの道春陽さす

腰痛め眠りが仕事春を待つ

川柳

年玉を震災寄付する孫さすが

鳴き声と眼力に負け飼秤る



菊川 年明

小島 武雄

藤原 勲

坂東 久平

古川 柳司

羽尻 崇

八木 順一

山本 美智子

國方 まり子

豊田 浩代

清原 加代子

阿部 和生

トラキチ

たけちゃん

新ならやま投句箱への投句有難うございます。今後ともよろしく願いいたします。

短歌

恵方巻入歯の向きも東北東

我を待つ両手広げてボランテア

梅剪定期待するのは水無月か

鬼は外呆けと痛いの連れてつて

高齢者デビューでヤッター無料やで

インフルかコロナか花粉か休みなし

行司転け烏帽子吹っ飛びやつるつばげ

インフルも風邪も蹴散らし春が来る

腹減った朝飯前の金毘羅宮

柳司

順ちゃん

福ちゃん

膝痛い

ねこしやら子

鼻水

フランカー

ぜんさん

のぶ

路地塀を覆い尽くすや枝垂れ梅

車停めると妻がつぶやく

春誘う梅のかんざし華やぎて

門出の孫へ指折りかぞえ

節分の庭の豆粒一日で

春の鳥たちご馳走さま

笹鳴きに耳を澄ませばホーホケキョー

春待つ人に届けとばかりに

初めての体験にはしゃぐ幼子の

真つ赤なほほに焚火のけむり

内河 洋文

谷川 雅邦

戸田 博子

千載 輝重

富江 文雄

行事案内

新入会員歓迎会

4 月 月例研修会のご案内

尾崎 信次

玉川 河川敷の花見と歌枕の里散策

富井 忠雄

京都南部の井手町は、奈良時代に当時の権力者であった左大臣橘諸兄たちばなのもろえがこの地に居を構えて以降、小野小町や藤原俊成といった歌人らが愛した歌枕の里です。歌碑を巡りながら、玉川の桜並木や山吹の花など花見を楽しみたいと思います。玉川は、日本六玉川の一つで水が清らかで古来和歌にも詠まれてきました。500本のソメイヨシノと山吹が咲く名所で、20基ほどの歌碑が建てられています。平成の名水百選にも選ばれています。玉津岡神社は540年に下照比売命したてるひめのみことがこの地に降臨したのが起源とされ、731年橘諸兄が創祀したと伝わっています。地蔵禅院には、樹齢300年前後といわれるしだれ桜があり京都府の天然記念物に指定されています。高台にあるこの寺院からはのどかな井手の里を一望することができます。

記

1. 日 時：4月2日(火)
2. 集 合：JR玉水駅(奈良線)10時00分
3. 持ち物：弁当、飲物、雨具
4. 会 費：花見の飲食代 ¥1000円

行 程

JR 玉水駅前—玉川河川敷—椿阪—小野小町塚—玉津岡神社—地蔵禅院—玉川河川敷(花見・昼食)—蛙塚—JR 玉水駅 15時頃行程約3km

申込先：富井忠雄

世話人：小島、田中、山上、富井

*前日午後7時前
NHK 天気予報で奈良北部地方の降水確率が60%以上の場合中止いたします。



昨年4月から今年3月までに入会された方を対象に以下の要領で行います。

- ◆昼食時間内に行います。今年は豚汁に焼きそば等を追加提供する予定です。
- ◆日 時：4月4日(木) 12時～13時
(雨天順延 4月11日)
- ◆場 所：ベースキャンプ
- ◆内 容
 1. 新入会員の紹介
 2. 新入会員歓迎の言葉
 3. 新入会員の挨拶
 4. 展示資料で各グループの紹介
 5. 閉会

担当 飯島、尾崎、福田



2024 年 2 月度 幹事会報告

開催日：1 月 30 日

I. はじめに

新春交流会を振り返って

各グループの説明はそれぞれ何とか完結できてよかったがお互いに交流するまでにはもっと工夫が必要。反省、苦労話など披露しあってより協力・連携できるように。

II. 会計、総務部より

- ・会員動向：退会 2 名 142 名（家族 15 名）
- ・会計：収支報告あり

III. 活動・行事関係

- ・2/1 協働活動でコナラ植樹用の 40 穴掘り
- ・焚き火の始末を徹底する 釘など入れない
- ・薪棚南側の斜面の名称を「さくら山」とする
- ・2/17 (土) シイタケイベント
- ・3/30 (土) わいわい桜祭り（雨天実施）
- ・4/4(木)新入会員歓迎会
- ・2024 年イベント計画 次回幹事会で確認

IV. 企画、助成金事業案件

- ・活動報告書取りまとめ中

V 特定議題

- ・土日活動について
4 月から第 4 木曜活動日を振り替えて土曜日に実施する方向で進めることを確認
- ・監査役は臨時代行として中川徹さん了解

VI. 広報関係

- ・ネイチャーなら 3 月号編成内容説明

VII. 報告・連絡事項、その他

- ・月例研修会 2/26 小泉の里 集合 10 時
- ・自然教室 1/22 佐保川小学習支援 報告
- ・2/13 果樹の育成、剪定について研修会
講師：北部農林振興事務所 O B
- ・終礼までに途中で帰る人は必ず G リーダー（もしくは終礼参加者）に伝えてから帰るよう徹底する。

以上

次回：2 月 27 日 中部公民館 14:00～



今年の初め、いこま棚田クラブの畑を数人の女性に任されることになった。全くの素人ばかり、おまけに今まではいつも指示待ちで気楽に参加していたが、今年からはそうはいかない。

自分たちで考え、自分たちで作業を進めて行かなければならない。まず初めに植えるのはジャガイモだ。車で参加している人に早めにジャガイモの種芋を買ってきてもらうように頼んだ。

ならやまのエコ G リーダーはジャガイモの種芋を 3 人で分けて持って帰ってる、と言われた。意味が分からなかったが、YouTube を見ると、芽出しをするために 2 週間～4 週間日光に当てるらしい。そうして芽が 3～5 mm 伸びた頃、5cm ほどの深さに 30cm 間隔で植える。20～30 日後、芽を 3 本ほど残して芽掻きをする。

人参は種を蒔いたら土はうす～くかけるんやで～、とエコ G リーダーが教えてくださった。エコ G の方々はジャガイモだけじゃない、年間に栽培されるすべての野菜類を私たちの知らないところで細かく気を配って栽培してくださっているのだと、あらためて尊敬と感謝の気持ちでいっぱいになった。

連作障害のこと、土の pH、春野菜、夏野菜の植え時・・・これからいろいろ面倒くさいことをお聞きしますが、エコ G の皆さま教えてください、よろしくお願いいたします。

4 月ならやま活動&行事予告

*ならやま活動 4/4 新入会員歓迎

*月例研修会 4/2 井手の桜見物

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

編集委員：青木（幸）・青木（芳）・尾崎

千載・田中（善）・戸田・豊田

表紙写真：間伐し加工した材木を、有効利用しています。